

# 減災目標について

北海道防災会議地震火山対策部会地震専門委員会  
地震防災対策における減災目標設定に関するワーキンググループ(第19回)

## 目的

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震により想定される被害を最小化するため、ハード・ソフト両面からの総合的な対策等についてとりまとめる。

## 基本理念

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定を踏まえ、「何としても命を守る」ことを主眼として、地震・津波対策をハード・ソフトの両面から総合的に実施することにより、想定される被害をできる限り軽減することを目指す。

## 基本目標

### 「命を守る」

ハード・ソフト両面からの総合的な対策を推進することにより一人でも多くの命を守る

### 「被害を最小限に抑える」

延焼防止対策等を推進することにより、各般にわたり発生する被害を最小限に抑える

### 「迅速かつ確実に復旧・復興する」

1日も早く元の生活に戻れるよう迅速かつ確実に復旧・復興する

## 減災目標

### 減災目標「被害を〈いつまでに、どの程度〉軽減」を設定

これまで取り組んできた防災訓練や防災教育などの対策を継続、避難施設や避難路の整備などのハード対策並びにそれら避難施設等の適正かつ有効な活用方法及び迅速かつ適切な避難行動に関する防災教育を中心としたソフト対策、内陸・高台部の発展にも目を向け、有事に備えた防災・減災対策と地域成長を両立させる地域づくりの検討を行うなどの対策を実施することにより目標の達成を目指す。

## 日本海溝・千島海溝沿いの地域特性を踏まえた取組

### ○防災教育の充実

積雪寒冷地特有の課題を踏まえた防災教育・防災訓練等を体系的に推進

### ○積雪寒冷対策

積雪等により、避難に時間を要する事などの積雪寒冷地特有の課題を踏まえた適切な応急対策を推進

### ○低体温症のリスク低減

屋内外で長時間寒冷状況にさらされることなどによる低体温症のリスクを低減する対策を推進

### ○要配慮者への配慮

積雪寒冷や、深夜の時間帯に地震が発生した場合における、要配慮者の安全で確実な避難の確保

### ○自動車避難の検討

地域の実情に応じた、自動車による避難の検討の促進

### ○広域応援体制の構築

市町村間のみならず都道府県間の支援が機能的に行われる枠組の検討

など

# 施策体系

中間報告書で示された体系を基本として、国の推進基本計画の施策も組み入れて施策体系を構築  
3つの基本政策の下に7つの政策の柱を設け、基本施策31分野、176の行動計画に整理

